

事務事業名	観光資源保護活用事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	20 終了
H29作成課等名	観光課	H29係等名	観光係	H28担当課等名	観光課	
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			
	施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化			
目的	対象(誰・何を)	市内の温泉事業者		対象指標	指標名及び単位	
	意図(どういう状態にするか)	宿泊客数を増加させるため温泉への誘客環境の改善と整備、支援を行う			28年度数値	
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)			12	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	PRされた温泉施設の数		13	13	12
	定性目標					
事業概要	<p>入湯税は目的税であり、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設、消防施設等、観光振興のための財源に充てるものである。(地方税法)</p> <p>温泉観光の誘客促進につながる施設整備を通じて温泉事業者の活性化を促進する。</p> <p>温泉利用客の増加を通じて、温泉資源の効果的活用に結び付ける。</p> <p>温泉の泉質及び施設周辺の環境を整備する。</p>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 観光振興事業 (1) 看板の設置 (2) PRパンフレット等の作成 (3) 観光情報誌へのPR掲載			1 (1) 設置箇所数 (2) 作成部数 (3) PR誌掲載数		1 (1) 1カ所 (2) 37,000部 (3) 1回
	2 安全な泉質維持のための補助			2 水質検査補助施設数		2 12施設
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足	
事業費計(千円)①	1,403	1,661	1,626	0	(そ)ふるさと寄附金	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他			1,223			
一般財源	1,403	1,661	403			
人件費計(千円)②	715	715	715	0		
正規職員所要時間	200	200	200			
臨時職員所要時間						
総事業費①+②	2,118	2,376	2,341	0		
事業内容・目標達成状況の振り返り	関連施設を観光情報誌へ掲載することができた。					
改革改善の考え方	①問題点	温泉をPRすることで、宿泊客を増加させる必要がある。				
	②改革提案	温泉施設とその周辺のPR強化し、観光誘客を図る。				